

平成24年度第1回函館市地球温暖化対策地域推進協議会 会議概要

1 日 時 平成24年11月13日(火)午後2時～午後3時40分

2 場 所 函館市本庁舎8階大会議室

3 出席者 委員(15名)

石原千鶴委員, 竹内正幸委員, 山本正子委員, 岩山静枝委員, 陳有崎委員,
渡部鯉子委員, 高橋泰助委員, 藤森和男委員, 砂原壮吉委員, 辻廣孝司委員,
前山芳輝委員, 村上貴弘委員, 伊藤皓嗣委員, 林充委員代理・茂原靖浩氏,
藤田秀樹委員

事務局(4名)

事務局長 上岸庸晃(環境部環境総務課長)

事務局員 正木悦郎(同課主査), 中村幸恵(同課主任主事), 佐藤弘康(同課主任主事)

4 傍聴者 報道関係2名

5 発言要旨

《1 開会》

《2 挨拶》

(石原会長)

3月に第2回の協議会を開催し, その時の提案に基づき「市民ノーマイカーデー事業検討部会」と「光の街はこだてあかりプロジェクト構想検討部会」の2つの部会を4月に設立しました。今日はその後初の協議会となるため, 情報の共有を図っていきたいと思います。

後ほど事務局から活動状況についての報告があると思いますが, 各委員からは忌憚のない意見をお願いします。

エコフェスタにおいてノーマイカーデー事業のアンケート調査を行った際は, 数名の委員に参加をいただき, アンケートを配布しました。

また, エコドライブ講習会や講演会にも多くの参加をいただきありがとうございます。

今日は, 少し参加が少ないですが, 部会では多くの委員が参加し, 活発な意見を出していただき, ありがとうございます。特に高等教育機関の委員からは, 専門的な意見をいただき, 非常に役に立っています。

今年は, 初めての夏の節電に取り組みましたが, 皆さんの頑張りで北海道では, 8.9%の削減となり, 家庭において5%にとどまりましたが, 先日, 北電の梅澤委員に伺ったところ, 函館だけの実績は出ていないが, 北電の函館支店管内, 檜山と渡島の2市16町の家と中小の事業所における実績としては, 平成22年度と比較して約5.7%削減となったとのこと。

いよいよ冬の節電と言うことで, 協議会の意義, 役割が本当に重要であると感じています。

今後はより一層皆さんのそれぞれの立場を活かしながら, また連携を深めながら活動をして参りたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

《 3 議題》

(1) 平成24年度活動状況について

- ・事務局から，平成24年度の活動状況について資料1に基づき説明
- ・市民ノーマイカーデー事業検討部会の活動について高橋部会長から説明

(高橋部会長)

部会の中でも様々な議論を行いながら，本年のノーマイカーデーを実施しましたが，成果として135名の方に参加をいただきました。来年は，もっと多く人々に集まっていたらいいような形でノーマイカーデーが実施できればと思います。

大きな議論としては，イベントと連携して実施した方が良いとの意見や，通勤，通学に限定した参加者の募集は困難との意見等があり，熱く議論を交わしました。

広く視点を変えて部会長としての意見も持っています。

今朝の道新の市内版で，函館市議会の委員において公共交通の見直しについて答申を出しており，自転車置き場や待合用のベンチの設置のほか，ノーマイカーデーの実施についての事項もありました。

議会の方でもノーマイカーデーの議論があるのであれば，ぜひ共に議論を行いながら，全市的な取組みとして実施できればと思います。

ノーマイカーデーの実施状況について詳細は，事務局から説明をお願いします。

- ・事務局から，資料2，3に基づき説明
 - ・光の街はこだてあかりプロジェクト構想検討部会の活動について竹内部会長から説明
- (竹内部会長)

あかりプロジェクトは，光の街はこだての特性を活かして，LED化等でCO2を削減するとともに，観光にも活用することを検討し，その結果を提言書としてまとめることを目的として設置し，今年度は第1回目を5月30日に開催しました。

部会では，観光スポットに限らず，家庭での普及を目指してはどうかという意見や，中長期で出来ることと，今できることを整理した上で両方の取り組みが必要ではないかといった意見が出ました。また，夜景の中でLED化を図ったときにLEDの特性として拡散性が比較的狭いということがあり，夜景ではどのように見えるのかといったことが大きな議論となりました。

これについては，専門家の意見を聞き，知識を深めることが必要であるということとなり，7月25日にLEDの基礎知識について，函館高専の森田教授を招いて講演会を開催しましたが，森田教授からは，ジュネーブ・モーターショーBMWのブース照明，イベント会場での応用例，ワルシャワのサッカー専用競技場，ロンドンのタワーブリッチなどのLED照明を景観に使用した例を紹介していただきました。参加委員からは，観光施設をライトアップする場合は，メーカー等を巻き込んで，一部費用を負担してもらっては等の意見があり，当面の目標設定として，5つの柱を上げました。

1つ目は，あかりと夜景に関する市民フォーラムの開催，2つ目として，省エネ照明に関する情報発信事業，3つ目として，LEDライトアップモデル施設による実証実験，4つ目として，省エネライトアップモデル地区の指定，5つ目としてL

LEDの特性を活かした照明装置の開発の5本柱で進めていくこととしました。

また、9月27日には、未来大学の迎山准教授を迎えて、太陽光発電を用いたLEDイルミネーションを制作する函館イルミナードの経験を基に、一つひとつが小電力であっても大規模なイルミネーションを作るということは、結果的に省エネにならないといったお話しや、常時点灯ではなく動きと連動するなど工夫を凝らすことで、夜景として見た場合に興味を引くものになり、それが結果として省エネになるのではないかとのお話しをいただきました。

参加委員からは、夜景について考える上で、街路灯がLED化されている部分とされていない部分の比較をするため地図に落としたものが必要ではないか等の意見がありました。

新聞報道の中で10月末に電気工事組合が市長を訪ねて、来年度の予算編成に向けて街路灯のLED化を求めた際に、市長は、光が下に向かうだけでは夜景に影響があるので研究が必要との回答があった旨報道されていました。

函館山からの夜景について、10月19日の温暖化防止市民講座で使われた資料の一部(資料5)を配布しています。(資料5について説明)

10月19日の講演会の講師のお話しでは、ウォーターフロントの方にあるオレンジ色のナトリウムランプに関して、同じ消費電力でLEDを回った場合に、今の瞬くような形には、できないとのことでした。当部会ではまず、省エネ化を図るということを大前提にしつつ、市民への啓発活動を行うと共に、施設を決めて実証実験を行って効果的な夜景の演出について、提言できるよう今後も取り組んでいきたいと考えています。

(石原会長)

平成24年度活動状況について質問、意見のある方の挙手を求めます。

(山本委員)

これから22日に市長との懇談があり、西部地区として用意するテーマとして上がっている意見の中で、つい先ほど伺った話ですが、しばらくぶりに函館山に登ったら、初めてのお客様は素晴らしいと言ってくれるが、何度も見ている我々にとってはとても暗く感じたとのことでした。町内会の街路灯もできるだけ早くLED化をとのことで市の方から指導がありますが、現在の夜景の明るさには街路灯の光がプラスさせていることから、LED化されていった時に夜景の景観がかなり変わってくると思われます。

LEDとナトリウムランプの消費電力について伺いたい。

(竹内内部会長)

ナトリウムランプに関して、同じ消費電力でLEDを回った場合に、今のような光にはならないとお話ししたのは、現在のLED照明で比較的暗い色であるオレンジ色で拡散性を出すためには、膨大な電力が必要になるためです。白色灯の部分については、拡散性の高い街路灯が開発されてきているので、検討の余地があると思うが、街路灯のLED化を求める前に、地区、施設を決めてまずライトアップ等どのように見えるのか実証実験を行い、先に検討していければと考えています。

(山本委員)

観光をメインにした場合には、ナトリウムランプの方がきれいに見えるということですが、街路灯に関しては既にLED化の指導を受けているので、実証実験ということですが、いつ頃にどのような結果がでるのか、まだ先が見えないというか、遠い話に感じます。

(石原会長)

なるべく遠い話にならないような形で実証実験を行い、進めていきたいと考えています。長崎ではLED化が進んでいるにも関わらず、夜景がきれいに見えるということからも、検討の余地があると考えています。

(村上委員)

地球温暖化防止と街あかりの両立が難しいということが協議の中でわかってきたところですが、実証実験の予算措置等について何か決まっていることはありますか。

(石原会長)

予算措置等については、具体的に決まっていますが、資料4の3の(2)に掲載のとおり、ライトアップモデル施設による実証実験として旧相馬邸を候補として検討しております。

(岩山委員)

ノーマイカーデー事業について、アンケートの対象が自宅からの通勤・通学という設定がされたために色々なサークル等で高齢の方が様々な活動を行っている中で、そういった方々が対象とならないため、参加が出来ない旨を連絡したが、もっと対象範囲が広がれば参加できる方もいると思い残念に思いました。

(高橋部会長)

部会内でもその議論は多く有り、今後に向けては、通勤・通学にこだわらない形で、日中の活動等を含めた広い考え方で実施することを検討しているほか、イベントに合わせたノーマイカーデーにしてどうかという意見や、毎月実施してはとの積極的な意見もあり、今回の反省点も踏まえて12月の部会で論議して行きたいと考えています。

(石原会長)

資料1-1-(5)の地球温暖化対策優良事業者登録制度の検討を継続するか否かについてご意見をいただきたいと思います。

(高橋委員)

この制度についてどういったものかお聞きしたい。

(事務局)

事業者には、地球温暖化防止に係る取り組みを実践していただき認証制度への登録をしていただき、協議会としては、登録した事業者を優良事業者として広報するといった制度ですが、環境マネジメントに関する認証制度としては、全国的な認証制度があるほか、北海道でも、先ほど協議会で後援した事業として説明したHES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)があり、認定された事業者は、公共事業の入札において加点が得られるなどのメリットがある確立された認証制度

があります。函館独自でそういった制度を目指すことが望ましいのか、またH E Sの普及を推進していくなどといった方向性も考えられます。

(高橋委員)

函館市の地球温暖化防止に関する事業に協賛する事業者を対象とすることが望ましいが、メリットを出すとなると入札の点数等は難しいと思うので、ノーマイカーデーの参加協力事業者や、公共交通の利用促進に係る協力事業者を表彰するなど、あまり難しいことをするのではなく、表彰制度のような形の方が良いと思います。

(陳委員)

公的な機関も含め全ての事業者が地球温暖化対策において何ができるかということかと思いますが、具体的に先駆的な例として全国または市内においてこういった制度はありますか。

(事務局)

この制度の検討については、協議会において委員の皆様から出された意見を基に今年度の事業の一つとして計画に加えたところです。全国的な先駆例として紹介できる情報は今はありませんが、本市においては、温暖化に特化した制度では無いですが、環境にやさしいお店(函館市ごみ減量・再資源化優良店)の認定制度があり、環境部の事業として実施しています。協議会としてそういった制度を設けることが良いのか、ご意見のあった表彰制度が良いのか等、ご検討いただければと思います。

(高橋委員)

市民ノーマイカーデーや植林など協議会で事業を行い、参加事業者にポイントを付与するなど面白いのではないかと。事業者としても何かしようと思っているが、何をやっていいかわからないというところもある。広報など難しい点もあると思うが、ぜひ良い企画を考えていければと思う。

(陳委員)

登録制度というと堅いイメージになるので、事業者や市民が気軽に参加できるような、やわらかい表現方法でアピールする方が良いと思います。

(石原会長)

登録制度というのは、名前が良くないということですね。

(陳委員)

零細企業がいちいち登録制度に登録するとは思えない。そこまで重いものではなく、気軽に参加できる形が望ましい。

(山本委員)

どこかで優良店のマークのようなものを見たことがあるのですが。

(事務局)

先ほど説明した市で実施している環境にやさしいお店の登録制度でステッカーを発行しているので、そのステッカーかと思われます。

(山本委員)

その制度は登録制ですか。

(事務局)

登録制です。

(山本委員)

算定基準はありますか。

(事務局)

いくつかの項目があり、その行動に取り組んでいただくということで登録していただくこととなっており、あまりきびしい基準にはなっていないかと思います。

(山本委員)

そういった制度を参考に気軽に取り組めるものが良いと思います。

(石原会長)

この制度の検討については、継続していくということで皆さん宜しいですか。

(全委員)

意義無し

(石原会長)

それでは、制度の検討を進めていくこととします。

(2)平成25年度事業計画検討案について

・事務局から、平成25年度事業計画検討案について資料4に基づき説明

(石原会長)

今日は、平成25年度事業計画について承認をいただくということではなく、たたき台となる検討案の協議となり、承認は次回の協議会となりますのでよろしくお願いいたします。

平成25年度事業計画検討案について質問、意見のある方の挙手を求めます。

(高橋委員)

継続事業が多いと思うので効果の検証等を行い見直しが必要である。

エコドライブも秋に人があまり集まらないようであれば春のみにするなど、メリハリのある事業展開が望ましい。ノーマイカーデーは、ぜひ規模を拡大して実施したい。

(砂原(壮)委員)

平成25年度事業計画検討案の1-(4)に交通エコロジー・モビリティ財団についての事項がありますが、大手自動車メーカーでは、新車の陸送の委託業者について、交通エコロジー・モビリティ財団が実施しているグリーン経営の認証資格の取得が条件となっており、取得や更新にかなりの費用負担もありますが、仕事を受けるために多くの運送業者が取得しています。このように大手企業の協力が得られれば大きな効果が得られるものと思います。

(前山委員)

協議会には、初めての出席となりますが、10月19日の温暖化防止市民講座に出席し、LED照明等について勉強したお陰で今日の会議のあかりプロジェクトの話も自分なりに理解ができました。こういった講演会等についても、広め方によっては参加率がもっと上がるのではないかと思います。

講演会では、函館の照明の話が多くされていて、LEDに変えると見え方が変わるという話があり、函館としては危機感を持たなくては行けないと思いましたが、地球全体で光を分散しているという話をされていて、非常に印象に残りました。そういった心に残るようなことをあの場に行かなくてもホームページ等で閲覧できるようにしたり、講演会等の広報も心に残るようなことをアピールして参加率向上を図り、市民の理解を深めることが望ましい。

(石原会長)

事業計画検討案の中にもホームページの充実・強化という言葉がありますし、ご意見をしっかりと反映させていきたいと思えます。

他に意見は、ありませんか。

それでは、事務局で本日出された意見について十分配慮の上、平成25年度事業計画案の作成に向けて検討をお願いします。

(3) その他

(石原会長)

その他について何かありますか。

無いようなので事務局から何かありますか。

(事務局)

今年度の活動および来年度の事業計画について委員の皆様からいただいたご意見を参考に検討を進めます。また、ご意見・ご提案については、随時受付していますので、事務局にご連絡ください。

次回の総会は、来年の3月に開催を予定しており、改めてご案内しますが、ご出席をよろしくをお願いします。

《4 閉会》